

ガイドブックに載っていない学校案内 ～第5回 市原中央高等学校～

第5回は市原中央高等学校です。

① 前期選抜の推薦条件について教えてください。

内申の推薦基準ですが、普通コースと英語コースであれば、単願で19、併願で21です。芸術コースでは単願で18、併願で20です。これは主要5科目の数値です。3学期制の学校であれば2学期末、2期制の学校であれば、12月末の時点での内申点です。公立入試に使用する調査書の内申点でもかまいません。どの時期の内申点を使うかは、学校によって統一してもらっています。

② 基準の内申点は目安なのか？絶対条件なのか？

原則としては、推薦条件となります。ただし、例年その基準に満たない生徒も受験してきます。入試当日の試験結果、内申書に記入されている諸活動や英検・漢検などの資格によっては合格の可能性がります。

③ 前期選抜の筆記試験で不合格となる点数は何点ぐらいですか？

具体的に不合格となる点数は設けておりません。その年の受験者の点数の様子を見て、あまり、点数がかけ離れた生徒については不合格にしています。最終的には内申点と面接の様子も総合的に考慮して合否を判断しています。英語コースについては、英語での面接を行い、その結果も重要視されます。芸術コースでは、もちろん実技も重視されます。

特に音楽専攻では楽理的な部分も重視されます。内申の基準が他の科よりも低く設定されている分、実技などを重視するようになります。

④ 芸術コースの入試では学力と実技のどちらを優先させますか？

飛び抜けた実力や才能があれば話は別ですが、基本的には市原中央の授業についていける学力も持っていることが望ましいです。それと合わせて、芸術コースの専門講師たちによる実技試験の評価を加え、総合的に合否を判断しています。

⑤ 特待生になるための条件は何ですか？

普通コースは、前期選抜A・Bの全受験者中、上位20%に対して、単願、併願に関係なく特待生での合格を出します。さらにその特待生を1:2:1に分けて特A;特B;特Cの種類を振り分けます。これを合格発表と合わせて受験者へ通知します。例年、入学者の70~80名が何かしらの特待生になります。英語コースで特待生になるには、やはり英語の学力を重視して判断します。英検2級、TOEICのスコアが450点以上で英語の試験が150点満点扱いになるので、それを目安にしていればと思います。芸術コースでは実技試験の結果が特に重要視され、芸術コースの講師の評価が極めて高い生徒に対して、特待生が認定されます。

また、24年度の入試から後期試験を無くし、前期選抜Cという入試を新たに行なうことになりました。この前期Cについては内申点を基準とした学校長の推薦は必要ありません。試験当日の点数と内申点、面接を総合的に判断する入試になります。日程的にも、例年の後期選抜とほぼ同じようになります。これまではどんなに高い点数を取った生徒でも、後期選抜で特待生になることは出来ませんでした。今年からは学校長推薦が無くても特待生になるチャンスがあります。

前期Cでの特待生の人数は決まっていません。前期A・Bで特待生の合格をした生徒たちと比べ、遜色のない成績を取った生徒に対して、成績に応じた特待生合格を若干名出す予定です。

⑥ 学校が想定しているよりも低い学力の生徒は入学してくることはありますか？

他の受験者と比べて明らかに点数の低い生徒は基本的に不合格になります。しかし、市原中央高校は授業の進度が速く、1年の最初から授業についていくことが出来ない生徒は若干名います。そういった生徒向けに授業のサポートや進学をサポートを行うセミナーがあったり、教師が個別にサポートをしたりするようになっています。

⑦ 具体的な進学目標の数値はありますか？

具体的な目標値というのは、設定していません。学校の方針として、単純に大学に入れる指導だけではなく、社会の良心となる人材を育てることを考えています。昨年度、国公立やMARCHクラスへの合格者は増えました。しかし早慶に3名しか合格していません。これには深く反省し、改善しなければなりません。今年度も国公立・難関私大合格数の、学校としての理想はありますが、進路指導において、それを生徒に押し付けることはしません。

⑧ 学校の授業はどの大学の入試を想定したレベルですか？

普通コースの場合には、学力別のクラス編成に加え、3年生からは国立志望、私立志望でのクラス編成も行なっています。そのため、行なっている授業もそのクラスのレベルに応じたものになります。3.5倍以上の倍率を保っている日東駒専の入試レベルは最低でも確保しています。もちろん、上位クラスは国公立、早慶レベルの授業を行っています。

⑨ 進学に向けた補習にはどのようなものがありますか？

1年の後期から「進学ゼミナール」という名称で生徒が自主的に好きな科目の補習を受ける事ができます。また、夏季休業中には「サマースクール」という進学に向けた勉強の合宿や「夏季セミナー」という補習があります。夏季セミナーはサマースクールと目的が若干異なります。普段の授業ではできない理科の実験などを中心に開講しています。

⑩ 入試に向けて学校外に予備校に通っていた生徒はどの程度の割合でいましたか？

正確な数値はわかりませんが、1年生で2割、2年生で4割、3年生で5割程度の生徒が予備校などに通っています。

どうしても、住んでいるところの関係で予備校に通えない生徒もいます。そういった生徒でも十分な入試対策を行えるように、学校内でのプログラムを組んでいます。

⑪ 昨年の卒業生の進路の内訳を教えてください。

卒業生273名のうち、大学へ現役で進学した生徒が180名、専門学校へ13名、短大へ11名、経済的な理由で就職をした生徒が1名、浪人生が68名です。大学進学のうち指定校推薦が22名、その他推薦やAOなどで28名が進学しています。

指定校推薦については、毎年生徒数を超える枠があります。ただし、その中で枠がうまるのはMARCHレベル以上や外語系の学部くらいです。指定校推薦の枠は校内に張り出して、生徒全員が見ることができるようになっています。ただし、推薦やAOを積極的に受けるような指導は一切行っていませんし、希望する生徒も少ないです。稀に、一般入試で受けられる実力があるのに、安易に推薦を選択する生徒を見るともったいないと思うこともあります。

⑫ 逆に、生徒へ推薦を使わないように指導することはありますか？

それは人権の侵害に関わる場所なので一切ありませんよ(笑)。ただ、「入りたい大学」を「入れる大学」にすることが受験勉強だという考えを教師たちが持っています。理想は、しっかり勉強して、受験をして、何校か受かった中から行きたい大学を選ぶことだという話は生徒たちにしています。推薦に頼ると、どうしても行ける大学や将来の選択肢を狭めてしまいます。希望する生徒に対して、将来のことをよく考えて決断するように話はしますが、引きとめたり推薦を出すことを渋ったりすることは一切ありません。

⑬ 生徒が就職を希望した場合の対応を教えてください。

まず、管轄となるハローワークから求人を取り寄せます。また、市原中央高校に入学して、就職を希望するには、よっぽどの事情があります。そのため、何が何でも企業へ就職させるために、試験の対策から面接の練習までありとあらゆることを行います。

⑭ 同じくらいのレベルの私立高校と比べて、市原中央が優れている点はどういったところですか？

今ほどの私学さんも設備を充実させていますが、市原中央高校は設立から30年近くを経ており、施設などのハード面でのアピールは難しいと思います。では、その中でなぜ市原中央にくる生徒がいるのかということですね。私立高校は必ず、理念や校訓を持っています。市原中央であれば「真心教育」がそれにあたります。それに基づいて、生徒たちが社会に出たときのことを考えて教育する。進学に偏った勉強一辺倒の英才教育ではなく、社会で頼りにされる人材を育てるという理念が市原中央の売りだと考えています。

⑮ 木更津総合の特進コースと市原中央では、どのような違いがありますか？

木更津総合の特進コースの特徴は少人数制ということですよ。イメージとしては、市原中央全体で行っていることを、木更津総合の特進では少人数に対して行っているというふうに考えていただければと思います。そのため、市原中央以上に生徒と教師が近い距離で授業をして、入試に臨むようになります。

⑯ どちらの方が進学に有利ですか？

市原中央も木更津総合も同じ学園なので、なんとも言えません。もちろん生徒の向き不向きもあります。学校全体が大学進学に向け、生徒同士で切磋琢磨し合うのが良いのであれば市原中央、生徒個人に手とり足とりの指導が希望であれば木更津総合の特進コースが良いと思います。

⑰ 地震などの災害に関して、学校独自の対策は行なっていますか？

市原中央の生徒は、自宅から自転車や徒歩で通っている生徒以外は、全員バスで通学しています。なので、交通網に問題が無ければ全員帰宅させることができます。また、学校に食堂があり、水や米などの食料の備蓄も十分あるので、万が一学校に泊らなければならない場合でも対応が可能です。建物も古いのですが、新しい建築基準法に準じたものなので、3月11日の地震でも壊れた箇所はほとんどありませんでした。

⑱ 学校の立地に合わせた災害の対策などはありますか？

立地的に、建物に関わる災害は地震以外にはありません。それ以外となると台風などの天候に関するものになります。それについては、細かく対応マニュアルが作成されており、交通網の状況に合わせて、授業の短縮や路線バスの編成が行われます。

⑲ その他、事件などに対して安全対策は取っていますか？

もちろん、人的な災害に対しても細かなマニュアルが定まっています。ただし、学校自体もそうですが、周囲の環境がとても平和なので、今のところ、そのマニュアルを使ったことはありません。

⑳ それ以外に、校則に違反する生徒(停学などの処分者)は年間何名くらいいますか？

生徒指導部はとても暇ですね(笑)。停学や謹慎なんかは1年に1回あるかないかです。ただし、服装や頭髪なんかの指導は細かく行っています。社会に出たときのことを考えたうえで、指導を厳しく行っています。罰則を与えるための指導部ではなく、社会に通用する人間を育てるための生徒指導部であると考えています。

21 市原中央高校へ入学したら、「こういった事を学べる・こういった人間に成長できる」と学校が生徒へ約束できることはありますか？

卒業生に在学中の思い出を聞くと、どの生徒も「良い仲間がいたこと」と答えるんですよ。私たちにとって、これはとてもうれしいことなんです。体育祭や文化祭、修学旅行などの行事もあって、どの生徒も一生懸命取り組んでいます。

部活動へも70%近い生徒が加入しています。その経験を通して良い人間関係、良い仲間を作って卒業していくのだと思います。人間関係がうまくできない子が多くいる時代で、そういった子たちが、それだけの仲間を作ることができる。それが市原中央のいいところであり、約束です。